片山小学校　ほけんだより　　令和３年５月１４日

さいた、さいた

～マスクのこと よく考えてみました 号～

マスク　のおはなし

先日の内科検診の際に、学校医の牛島先生から「マスクを鼻まで正しくつけられる子が増えるといいですね」と助言を頂きました。サイズが丁度良くなかったり、鼻がまだ低くてうまく引っかからなかったり･･･。子どもが正しくマスクをつけることは、大人以上に難しいものなのだと感じています。

しかし、学習や学校行事を安全に行うためには、マスクを正しくつけることが欠かせません。みんなが安心して気持ちよく過ごせるようにしましょう。

マスクの正しいつけ方を学ぼう

こんな使い方をしていませんか？

サイズが合っていない。せきやくしゃみのしぶきが飛び出てしまいます。

マスクをあごにかける。あごについているウイルスなどがマスクの内側についてしまいます。

鼻が出ている。鼻からウイルスなどを吸い込んでしまいます。

マスクをよくさわる。マスクの表面についているウイルスなどが手についてしまいます。

感覚過敏を知っていますか？

感覚過敏とは、体のさまざまな感覚が過敏で、日常生活に困難さがある状態をいいます。感覚過敏は病名ではなく症状で、わがままや我慢不足ではありません。

感覚過敏がない人にとってはなんでもないことが、感覚過敏がある人にとっては、とても辛かったり時には生活していく上で困難になったりすることがあります。

たとえば

- 視覚過敏　蛍光灯やスマホの画面の光で体調が悪くなる
- 聴覚過敏　大きな音、騒ぐ声などで体調が悪くなる
- 味覚過敏　食べられるものが極端に少ない
- 触覚過敏　マスクの感触が苦手で付けていることができない

新型コロナウイルスが流行してから、「自粛警察」や「マスク警察」など、他者を監視するまなざしが強くなったように感じます。人にはそれぞれの感覚の違いや事情があります。監視のまなざしではなく、理解し合おうとする共感のまなざし・あたたかいつながりを築いていきたいですね。

参考：感覚過敏研究所(https://kabin.life/)

感覚過敏を他の人に知ってもらうマーク

色覚の検査について

新座市では毎年小学４年生と中学１年生の保護者に希望をとり、色覚検査を実施しています。対象学年以外についても希望があれば検査を実施しますので連絡帳などで保健室・髙石までお知らせください。検査の結果、色間違いの疑いがある場合、眼科を受診して頂きますのでご協力をお願いします。

保護者の皆様へ

健康診断の結果、病院での検査や治療が必要と思われるお子さんには「治療のお願い」をお渡ししています。**耳鼻科検診・眼科検診に関しては、病院での許可が出たお子さんから水泳授業参加を認めています。**早めに受診をしてくださるよう、よろしくお願いします。